

—よき日をめざして—

第33回  
2017年度

# なにわ人権展

ダイバーシティ(多様性の受容)～こどもの未来、みんなの未来～

とき 平成30年 **1/31(水)** ▶ **2/3(土)** 午前10時～午後8時  
※3日(土)は、午後4時まで

ところ **浪速区民センター**

(浪速区稲荷2丁目4-3) ※地図は裏面をご覧ください。  
会場の広さ等の都合により、入場をお断りする場合がございます。

内容 ☆パネル展示 ☆ミニ展示と絵本展  
☆浪速区内小中学生の  
「人権啓発標語・ポスター」コーナー  
☆講演・映画・ファミリーコンサート

1月31日(水)

午後1時30分～午後3時

ジャーナリスト **石川 結貴**

「消えた子ども達～虐待と貧困の現場で何が起きているか～」

家族・教育問題、青少年のインターネット利用、児童虐待などをテーマに取材。豊富な取材実績と現場感覚をもとに多数の話題作を発表。著書の『ルポ居所不明児童～消えた子どもたち』は貧困や虐待の問題を抱えたまま放置される子どもの実態を報告し、大きな反響を呼ぶ。出版のみならず、専門家コメンテーターとしてのテレビ出演、全国各地での講演会など幅広く活動している。



午後1時30分～午後3時

プロボクサー **真道 ゴー**

「自分らしく生きる」

子どもの頃から周囲との違いをはっきり感じるが、「普通の女と違う自分がおかしいのか。友だちに言ったらきっと嫌われる」と悩みを抱えて過ごす。大学時代に周囲に知られることになり、理解されずいじめを受け、自分が何者なのか、生きていて幸せなのかと葛藤し、死を考えるほど苦しむ。性同一性障がいへの偏見や差別はまだ根強く残っており、「知らない」ことが偏見を生むため、まず知ってもらうことが大切と語ります。



午後6時～午後8時

映画上映  
「箱入り息子の恋」 主演：星野 源

わずらわしい人付き合いを避け、職場と自宅を往復するだけの日々を送る天童健太郎は、彼女いない歴＝年齢の35歳。そんな息子を見かねた両親は、親同士が見合いをする「代理見合い」をセッティングする。健太郎はそこで出会った女性・奈緒子に生まれて初めて恋に落ちる。しかし、2人の行く末には思いがけない障がい立ちが待っている。



入場無料  
申込不要  
手話通訳有り

午後1時30分～午後3時

羽衣国際大学教授・タレント **にしやんた**

「違いを楽しみ、力に変える」

親日国スリランカ、世界遺産キャンディ市生まれ。高校生の時に父が家を担保にして持てくれた7万円と片道切符を手に留学のために来日、第二の人生がスタート。来日1年で、日本語能力試験1級試験に合格し、留学生としての第一号となる新聞奨学生(読売)をしながら文武両道の大学生生活を送り、学部総代で卒業。日本国籍を取得し、現在は大学で教鞭をとる傍ら、テレビ・ラジオなどで活躍中。講演では、価値観の多様性が、新たな豊かさや活力を生み出すことを伝えます。



午後6時～午後7時

あとりえ西演代表 **太田 恭治**

「皮の文化の担い手たち」

大阪人権博物館学芸員を退職後、JR大阪環状線芦原橋ガード下にて仲間とLLP「あとりえ西演」を設立。靴づくりの歴史とその技を伝えている。現在、被差別民の文化・芸能を研究し、講演活動を行っている。講演では、皮革業がかつては被差別部落の産業として差別されてきたけれど、人々は高い誇りを持ちながらその文化を守り継承してきたことを伝えます。



2月1日(木)

午後1時30分～午後3時



映画「天空の城ラピュタ」「となりのトトロ」等の主題歌を歌う

「井上あずみ&ゆーゆのファミリーコンサート」

井上あずみ

1986年スタジオジブリ作品に抜擢され一躍注目を集める。メインテーマの歌唱でヴォーカルアルバムに参加し、スタジオジブリ初期作品になくはない歌声として高い評価を受ける。毎年全国各地で100箇所近く開催されるファミリーコンサートを中心に活躍中。

ゆーゆ

2012年NHKみんなのうた「6さいのぼらーど」でデビュー(当時7才)。6さいのホンネを語る歌詞と、昭和歌謡調のメロディが人気を集め番組にリクエストが殺到。2016年10月、ミュージカル「赤毛のアン」に主役で出演、モデルとして出演するなど、活躍の場を広げている。



定員：  
100名

一時保育  
有り

(1才半～就学前  
児童、5～6名、完全  
事前予約制)  
1月18日(木)まで  
浪速区役所 市民協働課  
までお申し込み  
ください。

2月3日(土)